



JICA 国際協力出前講座について

11月29日（金）に6年生の総合的な学習の時間「集まれ！地球の仲間たち」という単元で、JICA国際協力出前講座が行われました。青年海外協力隊に参加された方の貴重な体験談を聞くことができました。ベトナム、ザンビア、トンガの社会や文化などについて、学ぶことができました。これら3か国は、子どもたちにとって、決してなじみ深い国とは言えませんが、だからこそ興味や関心をもって活動することができました。世界には様々な国があり、日本と違うことに気付いたことが、大きな収穫と言えます。



平和の語り部、修学旅行、高山さんの国際貢献のお話、これまでの社会科や外国語科の授業など、今回の学習と関連することがたくさんあります。「どうつなげていくのか」については、子どもたちに任せますが、少なくとも海外の情報には今後も注目し続けてほしいと思います。

【6年生の学習後のまとめや感想】

- 📍 私は、講師の方から大切なことをたくさん学びました。まず、講師の方も、私たちと同じ年くらいの時にこの授業を受けて、夢を実現できているので、やっぱり挑戦するのは大切なことだと感じました。そして、お手頃価格で行けそうなので、ベトナムに私も行ってみたい！いろいろなことをしてみたい！と思いました。
- 📍 ベトナムでは、移動の基本はバイク、ということが分かって、通勤や学校へ行く時にもバイクを使うということに驚きました。また、結婚したら、髪の毛を団子にすることが分かり、3日もパーティーをすることに驚きました。昼休みは3時間もあって、家で昼食を食べることが分かりました。講師の方は、小学校の時に自分と同じように、青年海外協力隊の人から話を聞いて、自分もそれになりたいと思って、勉強をしたそうです。ベトナム語も勉強して、行動力がすごいと思いました。
- 📍 JICAでは、200種類の職業が選べるそうです。決まった国には2年間住むそうです。ベトナムでは、結婚している人は、髪形をお団子にするそうです。ご飯を食べるときには、自分よりも年齢の高い人から食べるそうです。ベトナムでおいしい食べ物は、「フォー」です。フォーを食べるときにお皿を口についたらあまりよくないそうです。ずっとその国にいたら自分もその国になじむそうです。講師の方は、自分がいなくなっても、ベトナムの人が活動を続けられるように教えたそうです。私はびっくりしたのですが、ベトナムでは、子どもでもバイクを運転できるそうです。講師の方は、私たちみたいに、JICAのことを学んで、それが将来につながったから、すごいなと思いました。



🍷 僕は、トンガの話を聞いて、思っていたよりも笑顔のあふれる国なのだと思います。なぜかと言うと、インターネットでトンガについて調べると、トンガは開発途上国だったからです。トンガの人は、油や塩分の多い食べ物を食べ続けたせいで、肥満や生活習慣病になりやすくなってしまったそうです。講師の方は、その問題を自分事のように考え、その問題を少しでも解決しようと、自分から活動したことがすごいなと思いました。他にも、トンガは、男の子もスカートをはくなど、日本とは異なる文化や生活があるのだと知りました。この学習で、世界に対する視野を広げることができました。講師の方のように、社会に貢献できる人になりたいです。



🍷 トンガの主食は、緑色のバナナやパンの実、芋類です。トンガの子どもたちの学校生活では、そろばんを日本から仕入れて、そろばんの授業をするそうです。トンガの服装は、「男女ともスカート」が基本です。お葬式の時には、長いスカートのような服装で参列するそうです。ココナッツをトンガはよく収穫するそうですが、油にする工場がないので、ニュージーランドやアメリカなどに輸入して、油にしてから輸入をするそうです。トンガでは、生活に苦しんだり、食料に困っていたりしているかもしれないので、募金の機会があればしたいと思いました。トンガのことについてたくさんの人に知ってもらいたいので、どんどん地域の人や親戚に伝えて、知ってもらいたいです。



🍷 今のザンビアが抱えている問題は、教育水準が低いことや若者の失業率が高いこと、乳幼児の死亡率が高いこと、農業生産性が低いことなどがあるそうです。講師の方は、ザンビアに教育の先生として行ったそうです。そこで工夫したことは、実際に目の前で調理や実験などをして、少しでも分かりやすく授業をすることを心掛けたり、クイズやゲームを用いたりして楽しく学べるようにしたことです。そして、JICAの人が行く場所は、住む場所や治安、現地の人たちなどしっかり調べられています。安全だと確定した場所に派遣されるそうです。絶対に危険ではないと確定した国には、別々の場所に数人ずつ、たくさんのJICAの人が派遣されるそうです。そして、私たちができることは、寄付付き商品を買ったり、コンビニなどで募金をしたり、いろいろな国の今の状況や問題などについて知ることだということが分かりました。私も、世界中のいろいろなことに目を向けて、国同士のつながりを大切にしたいです。



子どもたちの感想などを読んでみると、外国の様子について知ることができただけでなく、講師の方の人生観に触れたことにも価値を見出していることが分かりました。キャリア教育という視点からも、今回の活動は、子どもたちにとって有意義だったようです。講師の皆様、ありがとうございました。

